

AI研修

AI TRAINING PROGRAM

想像を
現実に。

AIの可能性を学ぶのではない。
自分の可能性を、広げる。

全4回 | 2ヶ月プロジェクト | 80万円（税別）

LaughMind

人の想像力が、いちばんのテクノロジーだ。



この研修で、いちばん育てたいのは

**自分たちの可能性を、
自ら広げていく力。**

**AIを使いこなし、
生産性を高められる人材になるために。**



AI時代に、多くの人がぶつかる4つの壁

01 「プロンプトの書き方が、
わからない」

02 「どうしても
AIっぽいものができてしまう」

03 「そもそも、何に使えば
いいのかわからない」

04 「ツールが多すぎて、
どれを使えばいいか迷う」

➡ **でも実は、その答えはAIが教えてくれます。**

技術や手順すらも、 AIが教えてくれる 時代になった。

だから大切なのは、「何を実現したいか」。

言われたことをこなすだけでは、AIに代替される仕事が増えていく。
これから必要なのは、自分で課題を見つけ、考え、行動し、
新しい価値を生み出す力です。



これまでの研修とは、まったく違う研修です。

作り方や手順は、あえて決めすぎない。自由に発想し、自分たちなりの答えを見つける2ヶ月です。

	これまでの研修	Laugh MindのAI研修
出発点	「AIで何ができるか」から考える	「自分たちは何を作りたいか」から考える
技術・手順	講師が用意し、その通りに操作する	AIに聞きながら、自分たちで見つける
つくるもの	全員が同じ課題・同じ完成形	チームで決めた、自分たちのアイデア
講師の役割	正しい手順を教える	つまづいた時に、全力でサポートする
目指す姿	ツールを使えるようになる	課題を見つけ、試し、改善し続けられる

ゴールまでの、2ヶ月の流れ

GOAL 自分の仕事の課題を見つけ、AIと試作し、
結果を確かめながら改善できるようになる。

第1回

可能性を知る

AIで自分の仕事の
可能性を広げる

→ AIについての知識

第2回

意図を伝える

「なんか違う」を
自分で直せる
ようになる

→ AIとの向き合い方

第3回

形にする

AIと一緒に
アイデアを形にする

→ 動く試作品・
3週間の実践計画

3週間

試して、磨く

チームで自由研究

→ テーマは
なんでもOK。
AIを味方に形にする

第4回

プレゼンする

アイデア実践博覧会

→ 制作物・発表資料・
次の一手

全4回（各90分） + 3週間のチーム実践 = 約2ヶ月のプロジェクト

この研修の4つの特徴

01

毎回、最新のAIニュースから

座学の前に、毎回AIニュースを紹介。
AIで今何ができ、どう使われているか。
まずは「手札」を知ることから。

02

3週間の自由研究とプレゼン

テーマはなんでもOKの自由研究。
AIと形にして、最終回にプレゼンします。

03

つまずいたら、全力サポート

週次報告には、講師が具体的な
「次の一手」を返します。
技術の壁で、手を止めさせません。

04

受講企業に合わせたお題設計

受講者の職種・利用経験・困っている
業務を事前に把握し、お題と素材を
調整します。



第1回・第2回の内容

	第1回 90分 AIで自分の仕事の可能性を広げる	第2回 90分 「なんか違う」を自分で直せるようになる
到達目標	AIで今何ができるのかを知り、 自分の仕事での可能性を描ける	AIに意図が伝わる頼み方と、 結果の直し方を理解する
主な内容	・ 今週のAIニュース ・ AIとは／AIエージェントとは ・ AIの可能性（調べる・作る・測る・まかせる）	・ 今週のAIニュース ・ 頼み方と5つの部品 （目的・前提・材料・出し方・確かめ方）
持ち帰るもの	AIについての知識	AIとの向き合い方

第3回・第4回の内容

	第3回 90分 AIと一緒にアイデアを形にする	第4回 90分 アイデア実践博覧会
到達目標	Claude Codeで小さく作り、動かして確かめ、最低1回は修正できる	制作物の価値と試行錯誤を説明し、次の実務活用につなげる
主な内容	- AIの初期設定（仕事・役割・任せる範囲） - 講師のライブ実演（相談 → 小さく作る → 動かす → 修正） - Claude Codeで試作し、最低1回は修正する	- チーム発表（発表15分＋質疑・講評5分） - 講師の振り返り - 明日からの一手を決める
持ち帰るもの	動く試作品／修正メモ／3週間の実践計画	制作物／発表資料／実務での次の一手

なんでもOKの、 自由研究。

気になることをチームで話し合い、
AIを味方に形にして、プレゼンする。



3週間のチーム実践を行います

テーマ なんでもOKの、自由研究。

目安：1日30分程度

WEEK 1

話し合いと発想

気になることをチームで話し合い、
アイデアを決めて小さく作る。

週末に共有するもの

テーマ・目指す状態・
試作品・役割分担



WEEK 2

試用と改善

別チームに使ってもらい、
意見を1つ以上反映する。

週末に共有するもの

試用の感想・直した箇所・
改善後の制作物



WEEK 3

プレゼン準備

認められるプレゼンを目指し、
実演を含めて15分で練習する。

週末に共有するもの

制作物・発表資料・使い方メモ・
実演の予備画像

週次報告は5項目

作ったもの

試してわかったこと

困っていること

次にやること

担当

→ 講師が、困りごとに対して具体的な「次の一手」を返します。

つくるものは、チームの雑談から決める。

学園祭みたいに、
ワイワイと！

STEP 1

チームで話す

「最近、自分が
気になっていることって何？」

「こんなものがあったら
便利だね！」

「こういうゲームやアプリを
作ってみたい！」

「これってAIを使ったら
実現できるんじゃない？」

STEP 2

AIに相談する

「こういうものを作りたいんだけど、
何から始めればいい？」

「こんな課題を解決したいんだけど、
どうすればいい？」

「そもそも、
こういうことって実現できる？」

STEP 3

形にして、プレゼン



AIを味方に、
作って、試して、直す。

最後は、認められるための
プレゼンへ。講師も全力でサポート。

テーマは自由。アイデアの例

営業や人材系

ヒアリング内容を
整理するミニツール

制作や広告系

制作物の確認項目を
まとめたチェックツール

管理部門

申請に必要な情報を
案内する画面

店舗やサービス系

新人向けの
接客練習クイズ

仕事の課題解決でも、日常を便利にするものでも、
趣味のゲームでも。なんでもOK！

※ 制作には、架空・公開可能なデータを使用します。



アイデア実践博覧会

第4回は、アイデアが認められるためのプレゼン。各チーム発表15分＋質疑・講評5分で、全員が発表に参加します。

発表資料の6項目（計15分）

きっかけ	なぜそのテーマを選び、誰に届けたいか	■ 1分
気づき	話し合って見えたことや、アイデアのヒント	■ 2分
テーマ	どういう状態を目指したか	■ 2分
制作物と実演	何をつくり、どう使うか。実物を見せる	■ 6分
試してわかったこと	失敗、他者の反応、改善したこと	■ 3分
価値と次の一手	誰にどんな価値があり、今後どう広げるか	■ 1分

評価する3つの観点

- 共感

そのアイデアに、
思わず共感できるか。
- 価値

誰かの役に立つ、
楽しめる価値があるか。
- 改善

試して得た気づきを、
修正に反映しているか。

受講者の声

//

プロンプトすらAIに聞く
という発想はなかった！

WEBディレクター

//

結局、答えは自分の中で
作るんだと気づかされた。

システムエンジニア

//

AIって使いこなせば、
こんなクオリティの高いものも
作れるんだ…と圧倒されました。

WEBデザイナー

//

最強プロンプトでも教えてくれる
かと思いきや、仕事への
向き合い方を正されました。

営業マネージャー

//

AIとの向き合い方を、
正されました。

PM

//

次は、あなたのチームが
この声を届ける番です。

Laugh Mind AI研修

講師・サポート体制

世界三大Webアワード（Awwwards・CSS Design Awards・CSS Winner）受賞のクリエイター集団が伴走します。



メイン講師

志藤 諒太

CBO / AI研究 / クリエイター



MC

柴田 翔太郎

CEO / ブランディングデザイナー



メイン講師

野戸 優成

取締役 / エンジニア / ディレクター



MC

陰山 秀信

CDO / AI研究家

メイン講師 操作と制作のライブ実演、技術的なつまずきの支援、制作過程へのフィードバック

MC 受講者の仕事への置き換えと問いかけ、理解度の確認と進行、課題設定と発表の講評

「これまでの当たり前社会が、 溶岩のように変容しています。」

AIの時代は、溶岩のように止まることなく進行しています。

先日、私は社員にSlackで「こういう狙いで、こういうものをお客様に提案したい。そのための資料とデザインを作ってほしい」と依頼しました。2〜3日経って「できました!」と出てきたものは、どれもあまりに既視感のあるものでした。

しかもそれは1人ではなく、ほぼ全員が同じでした。

Slackで伝えた情報をそのままAIに頼んでも、ほぼ同じものが出てくるのではないかと感じたのです。



株式会社Laugh Mind CEO / ブランディングデザイナー
柴田 翔太郎

依頼をほんの少し解像度高くして、AIに投げるだけ。そんな「AIの代わり」のような働き方は、このカオスな社会では通用しないでしょう。自分というフィルターを通した意見で、相手の頭の中にはないものを差し出す。それこそが価値です。

そしてそれは、AIを味方にすればできる。

私たちは、このAIの時代に抗うことはできません。
溶岩に飲まれるか、必死にサーフィンをするか、です。

**今こそ、人間らしさと感性で視野を広げ、自分の存在価値を
“スキル”として、一緒に身につけていきましょう!**

料金

AI研修 パッケージ料金

全4回（各90分）＋ 3週間のチーム実践／約2ヶ月

80万円（税別）

パッケージに含まれるもの

- メイン講師・MCによる全4回の研修（各90分）
- 事前ヒアリングと、受講企業に合わせたお題・素材の設計
- 演習用の架空データ・完成例・途中までの素材
- 3週間のチーム実践中の、週次報告へのフィードバック
- アイデア実践博覧会での講評

※ 受講人数・チーム数は、事前ヒアリングで決定します。

別途費用

実践編（第3回～チーム実践）でClaudeの有料アカウントを貴社で付与していない場合は、当社で1ヶ月限定のアカウントをご用意します。その場合、アカウント費用（実費）＋手数料10%を人数分ご請求します。

導入までの流れ

01 お問い合わせ

まずはお気軽にご相談ください。

02 ヒアリング

受講者の職種・AIの利用経験・困っている業務をうかがいます。

03 お題・素材の設計

貴社に近いお題を選び、演習用の架空データ・完成例・途中までの素材を用意します。

04 事前準備

AIへのログイン確認、Claude Codeの利用環境・プランの確定、チーム編成を行います。

05 研修スタート

全4回＋3週間のチーム実践。約2ヶ月のプロジェクトが始まります。

※ 開始前に、チーム編成・実践に使う時間・週次報告の提出先と締切・講師の回答目安を共有します。

よくあるご質問

Q AIを使ったことがない社員でも参加できますか？

A はい。まずはAIの基礎と、今AIで何ができるのかを知るところから始めます。

Q 社内の機密データを使う必要はありますか？

A いいえ。制作には、架空・公開可能なデータを使用します。

Q 作りたいものが思いつかなかったら？

A テーマは自由です。アイデアの例もご用意しており、迷ったときは講師と一緒に考えます。

Q どんなAIツールを使いますか？

A ChatGPT・Claude・Geminiなどの生成AIと、制作ではClaude Codeを使います。Claudeの有料アカウントがない場合は、当社でご用意します（別途費用）。

Q 実践期間には、どのくらい時間が必要ですか？

A 1日30分程度が目安です。受講企業と相談のうえ、実践の時間を確保します。

Q 何名から受講できますか？

A 受講人数・チーム数は、事前ヒアリングで決定します。チーム数に応じて、発表の枠を調整します。

21 CONTACT

まずは、お気軽に ご相談ください。

受講企業に合わせて、
進め方を一緒に設計します。

LaughMind

人の想像力が、いちばんのテクノロジーだ。

株式会社Laugh Mind

〒104-0028

東京都中央区八重洲2-8-8

大星八重洲ビル9F

info@laugh-mind.co.jp

<https://laugh-mind.co.jp/>

